



全国の学生から集まった夢を紹介!



タウンワーク **TOWNWORK** Presents

キャンパスライフ・プラスワン

Campus Life+1 通信

～教えて!みんなの夢～ Vol.2

学生の皆さんへの夢募集企画

「CampusLife+1」に

お寄せいただいた夢をご紹介します。

どのような夢をもっているのか?

その夢を持つに至った背景は?

今、どんなことに取り組んでいるの?

全国の学生の皆さんの「夢」に迫ります!

Profile

筑波大学大学院
博士前期課程 2年
鈴木裕行さん
(24歳)

シミュレーションを使って銀河をつくるなど、主に銀河について研究。好きな銀河は「棒渦巻銀河」



研究で得た知識をもっと世間に発信 宇宙で多くの人を笑顔に幸せに!

「宇宙がきっかけとなり人々がつながる世界を実現する」それが私の夢です。現在、大学で理論天文学を学んでいますが、研究して真理を突きつめるだけではなく、宇宙に興味を持っていない人が興味を持ち、コミュニケーションが盛んに行われる世の中づくりに携わりたいと考えています。今まで天文学や宇宙開発に携わっている人が宇宙が好きな人に対して、メッセージを発信する機会は多く見られました。しかし、より多くの人に関心をもってもらうためには、宇宙に興味を持っていない人にも魅力を感じてもらえるようなメッセージを伝え、宇宙が身近なものであると実感して欲しいと思っています。これまでに、小児病棟に入院している子どもたちに、病院内からも月が観察できるイベントの

お手伝いをしたり、小学校に自ら交渉をして宇宙に関する授業を行うなどし、より多くの人が宇宙に触れられるきっかけ作りにも励んできました。病院のイベントでは、入院している子どもたちだけではなく、保護者の方や医師、看護師の方々まで興味を持っていただけて、小さな範囲ですが自分が叶えたい世界観を実現することができました。大学で得た知識や経験を研究だけでなくとどめず、もっと世間に発信し、「宇宙」を通して多くの人々を笑顔にしたいです。



スーパーコンピューターを使って研究することも夢の一つ

夢への足跡

2001年 12歳

図工の時間で描いた絵が、宇宙エレベーターで月に行くという絵だった

2005年 16歳

高校の地学の授業で宇宙に強い興味を覚え、宇宙に携わりたいと思いはじめ

2011年 22歳

宇宙に興味を持つ人たちが集まる合宿に参加。様々な人に宇宙の魅力を伝えたいと思う

2013年 24歳

宇宙に関わるイベントを開催したいと CampusLife+1 に応募



他にもこんな夢が集まっています!

PickUP! Dream

1

自分が創るフリーペーパーで地域の魅力を発信し地域を活性化したい!

千葉県M.Sくん

PickUP! Dream

2

Made in Japanにこだわった、1つのものが出来るまでの工程を扱ったツアーを企画したい!

東京都N.Sさん

PickUP! Dream

3

オーストラリアに日本料理店を出す!

宮城県J.Hくん

Campus Life+1
実行委員会に
インタビュー!
夢を持つとは?

関東エリア



神奈川大学4年生 上杉翔くん

夢は誰もが持っているもの 学生生活の中で自分の言葉で語れるように



学生実行委員として、個人的には自己満足で終わる夢よりも誰かのためになる夢を応援したいと感じました。そう思えたのも大学生活の中で、人とのつながりの大切さを実感できたからです。もし辛いことがあったとしても、仲間がいれば乗り切れることもたくさんあるはず。だから皆さんには、学生生活の中で多くの人とつなが

り、様々な経験を積んで欲しいと思っています。私自身「日本の教育を変えたい」という夢を持ち就職活動に臨み、そのスタートラインに立つことができました。夢は言い換えれば生きる意味だと考えています。ぜひ、この取り組みを通じて、学生が当たり前のように夢を持つ社会になればと思っています。

「Campus Life+1通信」の最新情報はこちらからCHECK!

<http://entac.jp/>

インタク

検索